

Y, Endo G. Changes in laboratory test results and diagnostic imaging presentation before the detection of occupational cholangiocarcinoma. J Occup Health (in press)

2. 学会発表

- ① 佐藤保則, 久保正二, 中沼安二:印刷事業場で発生した胆管癌事例におけるDNA損傷の検討. 第49回日本肝臓学会総会 東京都 2013.6.6(肝臓 2013; 54(Suppl.3): PageA747.)
- ② 竹村茂一, 浦田順久, 久保正二:環境暴露による発癌が疑われた若年性多発胆管癌の臨床像. 第49回日本肝臓学会総会 東京都 2013.6.6 (肝臓 2013; 54(Suppl.3): PageA30.)
- ③ 久保正二 胆管癌診療のトピックスー印刷事業場での胆管癌集中発生を含めてー.第30回日本胆膵病態・生理研究会 仙台 2013.6.22.
- ④ 浦田順久, 竹村茂一, 坂田親治, 西岡孝芳, 野沢彰紀, 木下正彦, 濱野玄弥, 廣橋一裕, 中沼安二, 久保正二. オフセット校正印刷会社従業員にみられた胆管癌外科治療例. 第68回日本消化器外科学会総会 宮崎 2013.7.19
- ⑤ 佐藤保則, 久保正二, 中沼安二:印刷事業場で発生した胆管癌の発癌機序に関する免疫組織化学的検討. 第24回日本消化器癌発生学会総会 金沢市 2013.9.5-6.
- ⑥ 久保正二: 新たな職業癌:印刷労働者にみられた胆管癌多発事例. 第24回日本消化器癌発生学会総会 金沢市 2013.9.5-6.

- ⑦ 佐藤保則, 久保正二, 原田憲一, 佐々木素子, 中沼安二:肝胆道系でのジクロロメタン代謝関連酵素の発現と胆管癌の発癌. 第49回日本胆道学会学術集会 千葉 2013.9.19.
- ⑧ 久保正二, 竹村茂一, 坂田親治, 浦田順久, 西岡孝芳, 野沢彰紀, 木下正彦, 濱野玄弥, 中沼安二, 圓藤吟史: 環境からのがんとその対応 印刷労働者にみられた胆管癌多発事例. 日本癌治療学会誌 2013; 48(3):607. 京都市 2013.10.24-26.

H. 知的財産権の出願・登録状況

1. 特許取得 なし
2. 実用新案登録 なし
3. その他 なし

厚生労働科学研究費補助金(厚生労働科学総合研究事業)
分担研究報告書

3. 胆管がん検診の実施および健康状況調査票による健康調査の実施

研究分担者 圓藤吟史（大阪市立大学大学院医学研究科産業医学）
久保正二（大阪市立大学大学院医学研究科肝胆膵外科学）
河田則文（大阪市立大学大学院医学研究科肝胆膵病態内科学）
研究協力者 佐藤恭子、上原新一郎、林朝茂（大阪市立大学大学院医学研究科産業医学）
川村悦史、打田佐和子、榎本大、萩原淳司、藤井英樹
（大阪市立大学大学院医学研究科肝胆膵病態内科学）
首藤太一、廣橋一裕（大阪市立大学大学院医学研究科総合医学教育学）

研究要旨

大阪府内の印刷会社（A 社）のオフセット校正印刷部門の元および現従業員に胆管がん検診を実施した。胆管がん検診（第 1 回）は平成 25 年 7 月～10 月に実施した。まず、2006 年 10 月以前に大阪・東京・名古屋校正印刷部門に在籍していた元従業員に対して胆管がん検診受診希望の有無を調査した。胆管がん検診（第 1 回）の案内状を郵送し得た 85 名のうち、宛先不明で返送されてきたのは 11 名、受診希望は 44 名、希望しなかったのは 9 名、返信がなかったのは 21 名であった。希望した元従業員 44 名のうちの 42 名および現従業員 20 名、合計 62 名が受診した。胆管がん検診（第 2 回）は平成 26 年 1 月～3 月に実施した。胆管がん検診（第 2 回）の案内状を郵送し得た元従業員は 74 名で、受診希望は 35 名、希望しなかったのは 9 名、返信がなかったのは 30 名であった。希望した元従業員 35 名のうちの 33 名および現従業員 18 名、合計 51 名が受診した。検診結果に関しては腹部エコー（肝・胆・胆管に関する異常所見）、肝機能検査（ γ -GPT の上昇など）、腫瘍マーカー（CA19-9、CEA の上昇など）で特に異常があった者に対して要精査と判定した。第 1 回では 12 名、第 2 回では 6 名であった。第 1・2 回の検診および精査結果を総合的に判断した結果、積極的に胆管がんを疑う所見は認められなかった。また、A 社の元・現従業員に平成 25 年 10 月に健康状況調査票による健康調査を実施した。健康状況調査票を郵送し得た元従業員 153 名中、宛先不明で返送された 26 名を除く 127 名のうち健康状況調査票を回収できたのは 47 名であった。現従業員は 83 名全員から回収できた。回収できた元・現従業員 130 名には胆管がんの有病は認められなかった。

A. 研究目的

大阪府内の印刷会社（A 社）のオフセット校正印刷部門の元および現従業員に胆管がん検診を実施し胆管がんの早期発見をめ

ざす。さらに A 社の元および現従業員について、健康状況調査票による健康調査を実施して胆管がんの有病がないかを調査する。

B. 研究方法

- 4) 胆管がん検診（第1回）の対象者の選定方法
 - ③ 校正印刷部門元従業員の検診希望の有無を調査した。
 - ④ 校正印刷部門現従業員はA社の判断で選定した。
 - 5) 胆管がん検診（第1回）の実施
 - ⑤ 実施期間：平成25年7月～10月
 - ⑥ 実施場所：大阪市立大学附属病院胆管がん特別外来および日本医科大学附属病院外科
 - ⑦ 検診内容：問診票による調査（添付1）
 - ⑧ および血液検査、尿検査、腹部エコー検査、医師の診察などの検診（添付2）。
 - 6) 胆管がん検診（第2回）の対象者の選定方法
 - ③ 校正印刷部門元従業員の検診希望の有無を調査した。
 - ④ 校正印刷部門現従業員はA社の判断で選定した。
 - 4) 胆管がん検診（第2回）の実施
 - ④ 期間：平成26年1月～3月
 - ⑤ 実施場所：大阪市立大学附属病院胆管がん特別外来
 - ⑥ 検診内容：問診票による調査および血液検査、尿検査、腹部エコー検査、医師の診察などの検診（添付3）。
 - 5) 健康状況調査票による健康調査の実施
 - ④ 期間：平成25年10月
 - ⑤ 対象：平成25年10月17日時点の従業員名簿330名（元従業員222名、現従業員108名）のうち、胆管がん検診を受診していない従業員
 - ⑥ 内容：健康状況調査票（添付4）を作成し健康調査を実施した。
- なお、上記すべてに関して大阪市立大学倫

理委員会で承認されている（受付番号2368）。

C. 研究結果

- 4) 胆管がん検診（第1回）の対象者の選定
- ③ 校正印刷部門元従業員の検診希望の有無の調査

校正印刷部門元従業員名簿107名（平成25年7月31日時点）のうち1,2-ジクロロプロパンが使用されていたのは2006年10月までと考え2006年11月以降に大阪・東京・名古屋の校正印刷部門に在籍した従業員（7名）をまず除いた。対象者は、2006年10月以前に大阪・東京・名古屋校正印刷部門に在籍していた元従業員100名のうち、胆管がん発症者（12名）、住所不明者（2名）、他疾患にて死亡者（1名）の合計15名を除く85名（対象外5名含む）であった。

胆管がん検診（第1回）の対象者の選定結果はフローチャート1（添付5）に示す。まず、A社では平成24年度においても自主的に胆管がん検診を2回施行しており、A社の名簿をもとに、A社と研究班の代表研究者である圓藤が連携して元従業員56名（対象外5名含む）に対して検診希望の有無を調査するために、案内状と確認書を郵送した（フローチャート1のB）。受診希望者は33名（対象外5名含む）、希望しなかった2名は他機関にて受診済みであった。24名が期限までに返信がなかった（最終的には21名において返信がなかった）。次に受診希望者33名に対して日程調整および同意書に準ずる申込書を送付した（フローチャート1のC）。受診可能であったのは31名（対象外4名含む）、日程が合わず受診不可能であったのは2名（対象外1

名含む)であった。

前述した、期限までに返信がなかった24名に対して、研究班の代表研究者である圓藤からのみの案内状を郵送した(フローチャート1のE)。受診希望者は7名(2名はBの受診希望者と重複)、希望しなかったのは2名、返信がなかったのは12名(1名はBの受診希望者と重複)、宛先不明で返送されてきたのは3名であった。結局受診可能であったのは5名であった。

さらに、A社が把握していない元従業員29名に対してに対して研究班の代表研究者である圓藤からのみの案内状を郵送した(フローチャート1のF)。受診希望者は6名、希望しなかったのは5名で、うち1名は他機関にて受診済みのため希望しなかった。返信がなかったのは10名、宛先不明で返送されてきたのは8名であった。結局受診可能であったのは6名であった。

以上より、案内状を郵送した、2006年10月以前に大阪・東京・名古屋校正印刷部門に在籍していた元従業員85名のうち、宛先不明で返送された11名を除き、案内状が届いたと考えられたのは74名であった。受診可能であったのは42名、日程が合わず受診不可能となったのは2名、希望しなかったのは9名、返信がなかったのは21名であった。

④ 校正印刷部門現従業員はA社の判断で選定した。

現従業員38名のうち胆管がん発症者(5名)、大阪市大で検診を受診できない者(14名)合計19名を除く19名(対象外3名含む)およびA社が必要と判断した1名の合計20名が選定された。

2) 胆管がん検診(第1回)の実施

校正印刷部門元従業員42名および現従

業員20名、合計62名が受診した。

検診結果を以下の6つに分類した。

①腹部エコー(肝・胆・胆管に関する異常所見)、肝機能検査(γ -GPTの上昇など)、腫瘍マーカー(CA19-9、CEAの上昇など)要精査、②腹部エコー(肝・胆・胆管に関する所見)、肝機能検査要経過観察、③腹部エコー(肝・胆・胆管に関する所見)、肝機能検査治療継続、④他所見要精査・要医療、⑤他所見要経過観察、⑥異常なしとし、人数のカウントは①~③は重複がなく

①>②>③の順で一番重要な判定の分類にカウントした。同様に④~⑤は重複がなく④>⑤の順で一番重要な判定の分類にカウントした。⑥異常なしは①~⑤に該当しない者とした。①~⑥各々、12名、23名、2名、7名、43名、7名であった。①の腹部エコー(肝・胆・胆管に関する所見)、肝機能検査、腫瘍マーカー要精査となった者のうち、7名が大阪市立大学附属病院胆管がん特別外来で別途検診結果の説明を受けた。そのうち、2名が精密検査を受け、胆管がんは認められなかった。

4) 胆管がん検診(第2回)の対象者の選定

③ 校正印刷部門元従業員の検診希望の有無の調査

校正印刷部門元従業員名簿(平成25年12月16日時点)108名のうち2006年11月以降に大阪・東京・名古屋の校正印刷部門に在籍した従業員(7名)をまず除いた。対象者は、2006年10月以前に大阪・東京・名古屋校正印刷部門に在籍していた元従業員101名のうち、胆管がん発症者(12名)、住所不明者(13名)、他疾患にて死亡者(1名)の合計26名を除く75名(対象外5名含む)であった。

胆管がん検診（第2回）の対象者の選定結果はフローチャート2（添付6）に示す。まず、A社と研究班の代表研究者である圓藤が連携して元従業員53名（対象外5名含む）に対して検診希望の有無を調査した。尚、この53名のうち1名は他機関を受診していることを事前に把握していたために除外し、案内状、確認書と申込書を52名に郵送した（フローチャート2のBC）。受診希望者は25名（対象外4名含む）、希望しなかったのは4名で、うち3名は他機関にて受診済みのため希望しなかった。30名が期限までに返信がなかった（最終的には23名において返信がなかった）。実際、受診可能であったのは24名（対象外4名含む）、日程が合わず受診不可能であったのは1名であった。

前述した、期限までに返信がなかった30名に対して、研究班の代表研究者である圓藤からのみの案内状を郵送した（フローチャート2のEG）。受診希望者は5名（2名はBCの受診希望者と重複）、希望しなかったのは2名（1名はBCの受診希望せずと重複）、返信がなかったのは23名（4名はBCの受診希望と重複）であった。結局受診可能であったのは3名であった。

さらに、A社が把握していない元従業員22名に対してに対して研究班の代表研究者である圓藤からのみの案内状を郵送した（フローチャート2のFG）。受診希望者は7名、希望しなかったのは4名、返信がなかったのは11名であった。実際、受診可能であったのは6名、日程が合わず受診不可能であったのは1名であった。

以上より案内状を郵送した2006年10月以前に大阪・東京・名古屋校正印刷部門に在籍していた元従業員は74名で、宛先不

明で返送されたものはなく、全員に案内状が届いたと考えられた。受診可能であったのは33名、日程が合わず受診不可能となったのは2名、希望しなかったのは9名、返信がなかったのは30名であった。

④ 校正印刷部門現従業員はA社の判断で選定した。

現従業員37名のうち胆管がん発症者（5名）、大阪市大で検診を受診できない者（14名）、2006年11月以降に校正印刷部門に在籍した従業員（2名）合計21名を除く16名（対象外1名含む）およびA社が必要と判断した2名の合計18名が選定された。

4) 胆管がん検診（第2回）の実施

校正印刷部門元従業員33名および現従業員18名、合計51名が受診した。校正印刷部門元従業員のうち2名が初回であった。

検診結果を第1回と同様に以下の6つに分類した。

①腹部エコー（肝・胆・胆管に関する所見）、肝機能検査、腫瘍マーカー要精査、②腹部エコー（肝・胆・胆管に関する所見）、肝機能検査要経過観察、③腹部エコー（肝・胆・胆管に関する所見）、肝機能検査治療継続、④他所見要精査・要医療、⑤他所見要経過観察、⑥異常なしとした。①~⑥各々、6名、20名、2名、3名、32名、6名であった。①の腹部エコー（肝・胆・胆管に関する所見）、肝機能検査、腫瘍マーカー要精査と判定した中で、総合的に判断した結果、積極的に胆管がんを疑う所見は認められなかった。

5) 健康状況調査票による健康調査の実施

健康状況調査票を作成し健康調査を実施した。対象は平成25年10月17日時点のA社従業員名簿330名（元従業員222名、

現従業員 108 名)のうち、胆管がん検診を受診していない下記に該当する従業員である。

・元従業員は 222 名のうち胆管がん発症者 (12 名)、住所不明者 (13 名)、他疾患にて死亡者 (1 名)、胆管がん検診受診者 (42 名) 合計 68 名を除く 154 名が対象である。この 154 名の元従業員は①～③の 3 つに大別される。①校正印刷部門元従業員で受診を希望したが受診不可能であった 2 名 (フローチャート 1 の D) (添付 5) と受診を希望しなかった 9 名、(フローチャート 1 の D) (添付 5)、返信のなかった 21 名 (フローチャート 1 の H) (添付 5) 合計 32 名、②校正印刷部門以外に在籍した元従業員 115 名のうち、名簿上住所不明であったため 1 名を除く元従業員 114 名 (フローチャート 3 の J) (添付 7)、③2006 年 11 月以降に校正印刷部門に在籍した元従業員 7 名 (フローチャート 3 の K) (添付 7)。平成 25 年 10 月に健康状況調査票を郵送し、①8 名、②38 名、③1 名から返信があった。宛先不明者は②24 名、③2 名であった。

以上より、健康状況調査票を郵送した元従業員 153 名のうち、宛先不明者の 26 名を除き、健康状況調査票が届いたと考えられたのは 127 名であった。そのうち健康状況調査票を回収できたのは 47 名であった。

・現従業員は 108 名のうち胆管がん発症者 (5 名)、大阪市大で検診を受診した者 (20 名) 合計 25 名を除く 83 名が対象である (フローチャート 3 の I) (添付 7)。現従業員は 83 名全員から回収できた。

回収できた元・現従業員 130 名の健康状況調査票からは胆管がんの有病は認められなかった。

D. 考察

胆管がんの早期発見には検診は不可欠である。胆管がん検診の対象者であることおよび検診を実施することの周知が必要であった。胆管がん検診の対象者の選定に関しては、1,2-ジクロロプロパンが使用されていたのは 2006 年 10 月までと考え、原則 2006 年 10 月以前に大阪・東京・名古屋校正部に在籍した従業員を対象とした。校正印刷部門元従業員名簿をもとに、まず胆管がん検診希望の有無を調査するために、案内状を郵送した。名簿上住所不明や郵送したが転居のため宛先不明で返送されてきたのが 13 名あった。連絡のつかない対象者にはご自身が対象者であるとの認識のない者が含まれると考えられる。

胆管がん検診 (第 1 回) は平成 25 年 7 月～10 月に実施し、校正印刷部門元従業員 42 名および現従業員 20 名、合計 62 名が受診した。胆管がん検診 (第 2 回) は平成 26 年 1 月～3 月に実施し、校正印刷部門元従業員 33 名および現従業員 18 名、合計 51 名が受診した。胆管がん検診 (第 2 回) の受診者数は 1 回目より減ったが、1 回目に遠方から受診した者が 2 回目は受診しなかったことが挙げられる。一方、2 回目実施に初めて受診された元従業員は 2 名おり、少しでも多くの従業員に検診の意義を周知できたと考える。

検診結果に関して腹部エコー (肝・胆・胆管に関する異常所見:たとえば肝門部胆管拡張)、肝機能検査 (γ -GPT の上昇など)、腫瘍マーカー (CA19-9、CEA の上昇など) で特に異常があった者に対して要精査と判定した。第 1 回の検診で要精査と判定した 12 名のうち、7 名が別途検診結果の説明を受け、そのうち 2 名は大阪市立大学附属病

院胆管がん特別外来にて精密検査を施行し、胆管がんは認められなかった。要精査と判定された中で放置している者もいると推測されるが、第1・2回の検診および精査結果を総合的に判断した結果、積極的に胆管がんを疑う所見は認められなかった。しかし今後も早期発見のため検診受診は必要である。労働安全衛生法施行令などが平成25年10月に改正され、1,2-ジクロロプロパンを取り扱う業務が健康管理手帳交付の対象業務となった。交付要件は3年以上従事した経験があることではあるが、該当者は健康管理手帳交付申請をしていただきたいと切に思う。

平成25年10月に実施した元・現従業員の健康状況調査票において、回収できた元従業員47名、現従業員83名合計130名には胆管がんの有病は認められなかった。元従業員名簿上の222名について、胆管がん発症者(12名)、他疾患にて死亡者(1名)、胆管がん検診受診者(42名)以外、名簿上住所不明や郵送したが転居のため宛先不明で返送されてきたのが40名、返信のない80名の合計120名の健康状況は不明である。

E. 結論

大阪府内の印刷会社(A社)のオフセット校正印刷部門の元・現従業員に胆管がん検診を平成25年7月～10月に第1回(62名受診)、平成26年1月～3月に第2回(51名受診)を実施した。胆管がんは認められなかった。A社の元・現従業員に平成25年10月に健康状況調査票による健康調査を実施した。健康状況調査票を回収できた130名には胆管がんの有病は認められなかった。

F. 健康危険情報

特になし

G. 研究発表

1. 論文発表

- ① 圓藤吟史, 久保正二:印刷会社で集団発生した胆管癌の解明と対策 産業医学レビュー2014;26(4):201-209.
- ② 圓藤吟史: 印刷工場で多発した胆管がん. Medical Practice 2013; 31(2): 320-321.
- ③ Yamada K, Kumagai S, Nagoya T, Endo G: Chemical exposure levels in printing workers with cholangiocarcinoma. J Occup Health 2014; (in press)

2. 学会発表

- ① 圓藤吟史: わが国の産業中毒の最新トピック 印刷労働者にみられる胆管癌発症の疫学的解明と原因追究ならびに労働衛生対策. 第61回日本職業・災害医学会. 東京都千代田区 2013. 11. 30-12. 1(日本職業・災害医学会会誌 2013; 61 巻臨増: 61.)

H. 知的財産権の出願・登録状況(予定を含む)

1. 特許取得 なし
2. 実用新案登録 なし
3. その他 なし

添付1 A社 校正部_元従業員_問診票

この問診票は、個人情報などの秘密は厳守いたしますので、率直にお答えください。

ふりがな

氏名：----- 生年月日：大正・昭和・平成 年 月 日

性別：男・女 ----- 年齢： 歳

郵便番号：----- 現住所：-----

電話番号：-----

ご記入日：平成 25 年 月 日

() に数字や文言、選択肢がある場合は○をご記入ください。

1) 職業歴についてお尋ねします。

1. A社入社前の職歴：あり・なし

昭和・平成 () 年 () 月～昭和・平成 () 年 () 月：印刷業 or 印刷業以外

昭和・平成 () 年 () 月～昭和・平成 () 年 () 月：印刷業 or 印刷業以外

2. A社勤務状況

・アルバイト期間、部署異動も含めて詳しくご記入ください。

・所属は本支店および部署を（大阪・名古屋・東京／校正部・総務部・営業部・製版部・ビル清掃）から選んでご記入ください。

・実際の作業場所を（色校正室・前工程室<用紙や刷版準備作業>・その他）から選んでご記入ください。

記入例

昭和・平成 (3) 年 (5) 月 (20) 歳 所属 (大阪 / 校正部) 作業場所 (前工程)

入社

昭和・平成 () 年 () 月 () 歳 所属 (/) 作業場所 ()

異動があれば

昭和・平成 () 年 () 月 () 歳 所属 (/) 作業場所 ()

昭和・平成 () 年 () 月 () 歳 所属 (/) 作業場所 ()

昭和・平成 () 年 () 月 () 歳 所属 (/) 作業場所 ()

昭和・平成 () 年 () 月 () 歳 所属 (/) 作業場所 ()

昭和・平成 () 年 () 月 () 歳 所属 (/) 作業場所 ()

退職

昭和・平成 () 年 () 月 () 歳

3. A社P退職後の職歴：あり・なし

昭和・平成 () 年 () 月～昭和・平成 () 年 () 月：印刷業 or 印刷業以外

昭和・平成 () 年 () 月～昭和・平成 () 年 () 月：印刷業 or 印刷業以外

昭和・平成 () 年 () 月～昭和・平成 () 年 () 月：印刷業 or 印刷業以外

裏面も記入してください。

2) 勤務中に、有機溶剤における下記の症状があったかどうかをお尋ねします。A社
入社前・勤務中・退職後に分けてお答えください。該当する症状があれば○を付け、その時期をご記入ください。

	A社入社前		A社勤務中		A社退職後	
	症状があ ったら○	症状があっ た時期	症状があっ たら○	症状があっ た時期	症状があっ たら○	症状があっ た時期
例) 1. 頭が重い			○	H12~15		
1. 頭が重い						
2. 頭が痛い						
3. めまいがする						
4. はきけがする						
5. 食べ物をはく						
6. 食欲がない						
7. 腹が痛い						
8. 体重が減る						
9. 心臓がドキドキする						
10. 眠れない						
11. 不安である						
12. イライラする						
13. 集中力が低下する						
14. 手足がふるえる						
15. のどが痛い						
16. 目が痛い						
17. 皮膚があれ						
18. 手足が痛い						
19. 手足がしびれる						
20. 握力が低下する						
21. 視力が低下する						

3) これまでに会社の健康診断や人間ドック、医者の血液検査において肝機能検査を受けたことがありますか？
A社入社前・勤務中・退職後に分けてお答えください。肝機能検査を受けていた（受けた）時期、その際の肝機能異常の有無と肝機能異常を指摘されていた場合はその時期をご記入ください。

	A社 入社前	A社 勤務中	A社 退職後
1. 血液検査において肝機能検査を受けたことがある。	あり・なし	あり・なし	あり・なし
2. 受けていた（受けた）時期			
3. その際、肝機能異常があった	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
4. 肝機能異常を指摘されていた（いる）時期			

裏面も記入してください。

A. 過去にかかった病気があれば、右「病名一覧」から選んで番号を記入してください。ない場合は“なし”に○をしてください。

1. なし
2. あり
() 歳 番号_____
- () 歳 番号_____
- () 歳 番号_____
- () 歳 番号_____
- () 歳 番号_____

B. 現在治療中の病気があれば、右「病名一覧」から選んで番号を記入してください。ない場合は“なし”に○をしてください。

1. なし
2. あり
番号_____, _____, _____, _____, _____, _____

C. 以下の病気でお薬(インスリン注射を含む)を飲まれていますか。服薬している病気の番号に○をしてください。

1. 高血圧
2. 痛風・高尿酸血症
3. 糖尿病
4. 高脂血症・脂質代謝異常
5. 胃・十二指腸潰瘍
6. B型肝炎
7. C型肝炎

D. 手術を受けたことがありますか。() 内に病名を記入してください。ない場合は“なし”に○をしてください。

1. なし
2. あり
() 歳 (病名:)
- () 歳 (病名:)
- () 歳 (病名:)
- () 歳 (病名:)
- () 歳 (病名:)
- () 歳 (病名:)

E. 血縁者(父母、兄弟姉妹、亡くなった人を含む)のかかった病気に○をしてください。ない場合は“なし”に○をしてください。

1. なし
2. 脳梗塞
3. 脳出血
4. 高血圧
5. 糖尿病
6. 狭心症・心筋梗塞
7. 高脂血症・脂質代謝異常
8. 肝炎・肝硬変
9. 痛風・高尿酸血症
10. がん(部位:)

「病名一覧」

1. 高血圧
2. 痛風・高尿酸血症
3. 糖尿病
4. 高脂血症・脂質代謝異常
5. 肺結核・肋膜炎
6. 肺炎
7. ぜんそく
8. 慢性気管支炎
9. 狭心症
10. 心筋梗塞
11. その他の心臓病
12. 脳梗塞
13. 脳出血
14. 慢性胃炎
15. 胃潰瘍
16. 十二指腸潰瘍
17. A型肝炎
18. B型肝炎
19. C型肝炎
20. 脂肪肝
21. 肝硬変
22. 腎臓病
23. 尿路結石
24. 胆石
25. 甲状腺の病気
26. 胃がん
27. 肺がん
28. 大腸がん
29. 肝臓がん
30. 胆管がん
31. 乳がん
32. 子宮がん
33. その他のがん(部位:)
34. うつ病
35. その他(病名:)

裏面も記入してください。

にレ点、下線に数字をご記入ください。

F. タバコについて、お尋ねします。

1) タバコをすっていますか。

①「すっている」 ②「やめた」 ③「すわない」

2) 「すっている」「やめた」方にお尋ねします。

① 何歳ころから、習慣的にすいはじめましたか。 _____ 歳

② 1日平均して、何本すっていますか。または、すっていましたか。 _____ 本

3) 「やめた」方におたずねします。

① 何年前にやめましたか。 _____ 年前

G. 飲酒について「現在」と「10年前の平成15年ごろ」の状況をお尋ねします。

「現在」について

1) アルコールを飲む頻度をお答えください。

①飲まない ②月に1-3回 ③週に1回 ④週に2回 ⑤週に3回
 ⑥週に4回 ⑦週に5回 ⑧週に6回 ⑨毎日

2) 1回に飲むもっとも普通の組み合わせを選んでください。

ビール350mlの缶ビールで

①飲まない ②0.5缶以下 ③1缶 ④2缶 ⑤3缶 ⑥4缶 ⑦5缶以上

ビール500mlの缶ビールで、または、中ビンで

①飲まない ②0.5缶以下 ③1缶 ④2缶 ⑤3缶 ⑥4缶 ⑦5缶以上

日本酒1合(180ml)で

①飲まない ②0.5合以下 ③1合 ④2合 ⑤3合 ⑥4合 ⑦5合以上

焼酎原液換算で、1合(180ml)を基準として

①飲まない ②1/4合以下 ③1/2合 ④3/4合 ⑤1合 ⑥2合 ⑦3合以上

ウイスキー・ブランデー・リキュール シングル(30ml)で

①飲まない ②1杯以下 ③2杯 ④3杯 ⑤4杯 ⑥5杯 ⑦6杯以上

ワイン グラス(60ml)で

①飲まない ②1杯以下 ③2杯 ④3杯 ⑤4杯 ⑥5杯 ⑦6杯以上

「10年前の平成15年ごろ」について

3) アルコールを飲んできた頻度をお答えください。

- ①飲まない ②月に1-3回 ③週に1回 ④週に2回 ⑤週に3回
⑥週に4回 ⑦週に5回 ⑧週に6回 ⑨毎日

4) 1回に飲んできたもっとも普通の組み合わせを選んでください。

ビール350mlの缶ビールで

- ①飲まない ②0.5缶以下 ③1缶 ④2缶 ⑤3缶 ⑥4缶 ⑦5缶以上

ビール500mlの缶ビールで、または、中ビンで

- ①飲まない ②0.5缶以下 ③1缶 ④2缶 ⑤3缶 ⑥4缶 ⑦5缶以上

日本酒1合(180ml)で

- ①飲まない ②0.5合以下 ③1合 ④2合 ⑤3合 ⑥4合 ⑦5合以上

焼酎原液換算で、1合(180ml)を基準として

- ①飲まない ②1/4合以下 ③1/2合 ④3/4合 ⑤1合 ⑥2合 ⑦3合以上

ウイスキー・ブランデー・リキュール シングル(30ml)で

- ①飲まない ②1杯以下 ③2杯 ④3杯 ⑤4杯 ⑥5杯 ⑦6杯以上

ワイン グラス(60ml)で

- ①飲まない ②1杯以下 ③2杯 ④3杯 ⑤4杯 ⑥5杯 ⑦6杯以上

裏面も記入してください。

H. 最近1ヶ月の間にあった気になる症状の番号に○をしてください。

1. 気になる症状はない
2. 頭が重い、痛い
3. めまいがする
4. 目がすぐに疲れる
5. 耳が聞こえにくい (右・左)
6. 耳鳴りがする (右・左)
7. せき、たんがでる
8. 息切れがする
9. 夜や朝方、ぜいぜいする
10. 心臓がどきどきする
11. 脈が乱れる
12. 胸の圧迫感、しめつけ感や痛みがある
13. 食欲がない
14. 胸やけ、胃がもたれる
15. 胃が痛む(空腹のとき、食事の後、いつも)
16. 吐き気がする
17. 下腹部が痛む
18. 便秘をする
19. 下痢をする
20. 便に血が混じる
21. 真っ黒い便がでる
22. のどが渇く
23. 急に体重が減った
24. 体がだるい
25. 手足がしびれる
26. 肩がこる、痛い
27. 腰や背中が痛い
28. 関節や筋肉が痛い
29. むくむ (顔・手・足)
30. 尿に血が混じる
31. 尿が出にくい、残尿感がある
32. すぐ目がさめる
33. 寝つきが悪い
34. イライラする
35. 気分がゆううつで、ひどくめいる

以下は女性の方だけお答えください。

36. 採尿当日生理中である
37. 月経以外に異常な出血がある
38. 閉経している (歳)
39. 手術で子宮を全部で取った
40. 手術で卵巣を全部で取った

質問は以上です。記入漏れがないか今一度お確かめください。

ご協力ありがとうございました。

検診当日この問診票を必ずお持ちいただき、医療相談窓口①②番窓口にご提出ください。

添付2 胆管がん検診（第1回）の検診内容

検査項目		
診察		問診
		触診
		聴診
血圧		
身体測定		身長
		体重
尿検査		比重
		PH
		蛋白
		糖
		潜血
		ウロビリノーゲン
		血液検査
赤血球		
ヘモグロビン		
ヘマトクリット		
血小板		
スクリーニング	血液像(白血球分画)	
	プロトロンビン時間(PT)	
糖	HbA1c	
	空腹時血糖	
鉄	TIBC	
	Fe	
血中脂質	総コレステロール	
	TG	
	HDLコレステロール	
	LDLコレステロール	
腎機能	BUN	
	クレアチニン	
	Na	
	K	
	Cl	
尿酸値	尿酸	
肝胆道系酵素	TP	
	Alb	
	A/G	
	蛋白分画	
	T-Bil	
	D-Bil	
	ALP	
	AST	
	ALT	
	γGTP	
	LDH	
	ZTT	
	ChE	
	アミラーゼ	
	CPK	
	LAP	
腫瘍マーカー	AFP	
	CEA	
	CA19-9	
	DUPAN-2	
	Span-1	
血漿蛋白	CRP	
	免疫グロブリン(IgG)	
自己抗体検査	抗ミトコンドリア抗体	
	抗核抗体(ANA)	
肝炎ウイルス関連	HCV抗体	
	HBs抗原	
	HBs抗体	
	HBc抗体	
腹部超音波		

添付3 胆管がん検診（第2回）の検診内容

検査項目			
診察		問診	
		触診	
		聴診	
血圧			
身体測定		身長	
		体重	
		比重	
		PH	
尿検査		蛋白	
		糖	
		潜血	
		ウロビリノーゲン	
	CBC		白血球
			赤血球
			ヘモグロビン
		ヘマトクリット	
		血小板	
スクリーニング		血液像(白血球分画)	
		プロトロンビン時間(PT)	
糖		空腹時血糖	
鉄		Fe	
血中脂質		総コレステロール	
		TG	
		HDLコレステロール	
		LDLコレステロール	
腎機能		BUN	
		クレアチニン	
		Na	
		K	
		Cl	
尿酸値		尿酸	
血液検査	肝胆道系酵素	TP	
		Alb	
		A/G	
		蛋白分画	
		T-Bil	
		D-Bil	
		ALP	
		AST	
		ALT	
		γGTP	
		LDH	
		ZTT	
		ChE	
		アミラーゼ	
		CPK	
	LAP		
	腫瘍マーカー	AFP	
		CEA	
		CA19-9	
		DUPAN-2	
Span-1			
血漿蛋白		CRP	
腹部超音波			

添付4 A社校正部以外 or2006年11月以降在籍の校正部元従業員_健康状況調査票(J)

この健康状況調査票は、個人情報などの秘密は厳守いたしますので、率直にお答えください。

ふりがな

氏名：_____生年月日：大正・昭和・平成____年____月____日

性別：男・女_____年齢：_____歳

郵便番号：_____現住所：_____

電話番号：_____

ご記入日：平成25年____月____日

()に数字や文言、選択肢がある場合は○をご記入ください。

1) 職業歴についてお尋ねします。

1. A社入社前の職歴：あり・なし

昭和・平成()年()月～昭和・平成()年()月：印刷業 or 印刷業以外

昭和・平成()年()月～昭和・平成()年()月：印刷業 or 印刷業以外

2. A社勤務状況

・アルバイト期間、部署異動も含めて詳しくご記入ください。

・所属は本支店および部署を（大阪・名古屋・東京／校正部・総務部・営業部・製版部・ビル清掃）から選んでご記入ください。

・実際の作業場所を（色校正室・前工程室<用紙や刷版準備作業>・その他）から選んでご記入ください。

記入例

昭和・平成(3)年(5)月(20)歳 所属(大阪 / 校正部) 作業場所(前工程室)

入社

昭和・平成()年()月()歳 所属(/) 作業場所()

異動があれば

昭和・平成()年()月()歳 所属(/) 作業場所()

昭和・平成()年()月()歳 所属(/) 作業場所()

昭和・平成()年()月()歳 所属(/) 作業場所()

昭和・平成()年()月()歳 所属(/) 作業場所()

退職

昭和・平成()年()月()歳

3. A社退職後の職歴：あり・なし

昭和・平成()年()月～昭和・平成()年()月：印刷業 or 印刷業以外

昭和・平成()年()月～昭和・平成()年()月：印刷業 or 印刷業以外

昭和・平成()年()月～昭和・平成()年()月：印刷業 or 印刷業以外

2) A社入社前・在職中・退職後に、有機溶剤を扱う作業場所で作業をしたことがありますか？

いずれか○を付けてください。

はい・いいえ

裏面も記入してください。

3) 2)で「はい」と答えた方にお尋ねします。勤務中に、有機溶剤における下記の症状があったかどうかを、お尋ねします。A社入社前・在職中・退職後に分けてお答えください。該当する症状があれば○を付け、その時期をご記入ください。

	A社入社前		A社勤務中		A社退職後	
	症状があったら○	症状があった時期	症状があったら○	症状があった時期	症状があったら○	症状があった時期
例) 1. 頭重			○	H12~15		
1. 頭が重い						
2. 頭が痛い						
3. めまいがする						
4. はきけがする						
5. 食べ物をはく						
6. 食欲がない						
7. 腹が痛い						
8. 体重が減る						
9. 心臓がどきどきする						
10. 眠れない						
11. 不安である						
12. イライラする						
13. 集中力が低下する						
14. 手足がふるえる						
15. のどが痛い						
16. 目が痛い						
17. 皮膚があれ						
18. 手足が痛い						
19. 手足がしびれる						
20. 握力が低下する						
21. 視力が低下する						

4) これまでに会社の健康診断や人間ドック、医療機関の血液検査において肝機能検査を受けたことがありますか？
A社入社前・在職中・退職後に分けてお答えください。肝機能検査を受けていた（受けた）時期、その際の肝機能異常の有無と肝機能異常を指摘されていた場合はその時期をご記入ください。

	A社入社前	A社勤務中	A社退職後
1. 血液検査において肝機能検査を受けたことがある。	あり・なし	あり・なし	あり・なし
2. 受けていた（受けた）時期			
3. その際、肝機能異常があった	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
4. 肝機能異常を指摘されていた（いる）時期			

A. 過去にかかった病気があれば、右「病名一覧」から選んで番号を記入してください。ない場合は“なし”に○をしてください。

1. なし
2. あり
() 歳 番号 _____
() 歳 番号 _____
() 歳 番号 _____
() 歳 番号 _____
() 歳 番号 _____
() 歳 番号 _____

B. 現在治療中の病気があれば、右「病名一覧」から選んで番号を記入してください。ない場合は“なし”に○をしてください。

1. なし
2. あり
番号 _____, _____, _____, _____, _____, _____

C. 以下の病気でお薬(インスリン注射を含む)を飲まれていますか。

服薬している病気の番号に○をしてください。

1. 高血圧
2. 痛風・高尿酸血症
3. 糖尿病
4. 高脂血症・脂質代謝異常
5. 胃・十二指腸潰瘍
6. B型肝炎
7. C型肝炎

D. 手術を受けたことがありますか。() 内に病名を記入してください。ない場合は“なし”に○をしてください。

1. なし
2. あり
() 歳 (病名:)
() 歳 (病名:)
() 歳 (病名:)
() 歳 (病名:)
() 歳 (病名:)
() 歳 (病名:)

E. 血縁者(父母、兄弟姉妹、亡くなった人を含む)のかかった病気に○をしてください。ない場合は“なし”に○をしてください。

1. なし
2. 脳梗塞
3. 脳出血
4. 高血圧
5. 糖尿病
6. 狭心症・心筋梗塞
7. 高脂血症・脂質代謝異常
8. 肝炎・肝硬変
9. 痛風・高尿酸血症
10. がん(部位:)

「病名一覧」

1. 高血圧
2. 痛風・高尿酸血症
3. 糖尿病
4. 高脂血症・脂質代謝異常
5. 肺結核・肋膜炎
6. 肺炎
7. ぜんそく
8. 慢性気管支炎
9. 狭心症
10. 心筋梗塞
11. その他の心臓病
12. 脳梗塞
13. 脳出血
14. 慢性胃炎
15. 胃潰瘍
16. 十二指腸潰瘍
17. A型肝炎
18. B型肝炎
19. C型肝炎
20. 脂肪肝
21. 肝硬変
22. 腎臓病
23. 尿路結石
24. 胆石
25. 甲状腺の病気
26. 胃がん
27. 肺がん
28. 大腸がん
29. 肝臓がん
30. 胆管がん
31. 乳がん
32. 子宮がん
33. その他のがん(部位:)
34. うつ病
35. その他(病名:)

裏面も記入してください。

F. タバコについて、お尋ねします。 にレ点、下線に数字をご記入ください。

1) タバコをすっていますか。

①「すっている」 ②「やめた」 ③「すわない」

2) 「すっている」「やめた」方にお尋ねします。

③ 何歳ころから、習慣的にすいはじめましたか。 _____ 歳

④ 1日平均して、何本すっていますか。または、すっていましたか。 _____ 本

3) 「やめた」方におたずねします。

② 何年前にやめましたか。 _____ 年前

G. 飲酒について「現在」と「A社在職中」の状況をお尋ねします。

「現在」について

1) アルコールを飲む頻度をお答えください。 レ点をご記入ください。

①飲まない ②月に1-3回 ③週に1回 ④週に2回 ⑤週に3回
 ⑥週に4回 ⑦週に5回 ⑧週に6回 ⑨毎日

2) 次の記入例1) 2) を参照して1回に飲むもっとも普通の組み合わせを選んで、レ点をご記入ください(5 ページ目に回答してください)。

例1) 1回にビール350mlの缶ビールで1缶のみを飲む場合は

ビール350mlの缶ビールで

①飲まない ②0.5缶以下 ③1缶 ④2缶 ⑤3缶 ⑥4缶 ⑦5缶以上

ビール500mlの缶ビールで、または、中ビンで

①飲まない ②0.5缶以下 ③1缶 ④2缶 ⑤3缶 ⑥4缶 ⑦5缶以上

日本酒1合(180ml)で

①飲まない ②0.5合以下 ③1合 ④2合 ⑤3合 ⑥4合 ⑦5合以上

焼酎原液換算で、1合(180ml)を基準として

①飲まない ②1/4合以下 ③1/2合 ④3/4合 ⑤1合 ⑥2合 ⑦3合以上

ウイスキー・ブランデー・リキュール シングル(30ml)で

①飲まない ②1杯以下 ③2杯 ④3杯 ⑤4杯 ⑥5杯 ⑦6杯以上

ワイン グラス(60ml)で

①飲まない ②1杯以下 ③2杯 ④3杯 ⑤4杯 ⑥5杯 ⑦6杯以上

例2) 1回にビール350mlの缶ビールを1缶と、日本酒1合を飲む場合は

ビール350mlの缶ビールで

①飲まない ②0.5缶以下 ③1缶 ④2缶 ⑤3缶 ⑥4缶 ⑦5缶以上

ビール500mlの缶ビールで、または、中ビンで

①飲まない ②0.5缶以下 ③1缶 ④2缶 ⑤3缶 ⑥4缶 ⑦5缶以上

日本酒1合(180ml)で

①飲まない ②0.5合以下 ③1合 ④2合 ⑤3合 ⑥4合 ⑦5合以上

焼酎原液換算で、1合(180ml)を基準として

①飲まない ②1/4合以下 ③1/2合 ④3/4合 ⑤1合 ⑥2合 ⑦3合以上

ウイスキー・ブランデー・リキュール シングル(30ml)で

①飲まない ②1杯以下 ③2杯 ④3杯 ⑤4杯 ⑥5杯 ⑦6杯以上

ワイン グラス(60ml)で

①飲まない ②1杯以下 ③2杯 ④3杯 ⑤4杯 ⑥5杯 ⑦6杯以上

「現在」1回に飲むもっとも普通の組み合わせを選んでください。

ビール350mlの缶ビールで

- ①飲まない ②0.5缶以下 ③1缶 ④2缶 ⑤3缶 ⑥4缶 ⑦5缶以上

ビール500mlの缶ビールで、または、中ビンで

- ①飲まない ②0.5缶以下 ③1缶 ④2缶 ⑤3缶 ⑥4缶 ⑦5缶以上

日本酒1合(180ml)で

- ①飲まない ②0.5合以下 ③1合 ④2合 ⑤3合 ⑥4合 ⑦5合以上

焼酎原液換算で、1合(180ml)を基準として

- ①飲まない ②1/4合以下 ③1/2合 ④3/4合 ⑤1合 ⑥2合 ⑦3合以上

ウイスキー・ブランデー・リキュール シングル(30ml)で

- ①飲まない ②1杯以下 ③2杯 ④3杯 ⑤4杯 ⑥5杯 ⑦6杯以上

ワイン グラス(60ml)で

- ①飲まない ②1杯以下 ③2杯 ④3杯 ⑤4杯 ⑥5杯 ⑦6杯以上

「A社在職中」について

3) アルコールを飲んでいた頻度をお答えください。 レ点をご記入ください。

- ①飲まない ②月に1-3回 ③週に1回 ④週に2回 ⑤週に3回
⑥週に4回 ⑦週に5回 ⑧週に6回 ⑨毎日

4) 1回に飲んでいたもっとも普通の組み合わせを選んでください。前ページの記入例を参照してください。

ビール350mlの缶ビールで

- ①飲まない ②0.5缶以下 ③1缶 ④2缶 ⑤3缶 ⑥4缶 ⑦5缶以上

ビール500mlの缶ビールで、または、中ビンで

- ①飲まない ②0.5缶以下 ③1缶 ④2缶 ⑤3缶 ⑥4缶 ⑦5缶以上

日本酒1合(180ml)で

- ①飲まない ②0.5合以下 ③1合 ④2合 ⑤3合 ⑥4合 ⑦5合以上

焼酎原液換算で、1合(180ml)を基準として

- ①飲まない ②1/4合以下 ③1/2合 ④3/4合 ⑤1合 ⑥2合 ⑦3合以上

ウイスキー・ブランデー・リキュール シングル(30ml)で

- ①飲まない ②1杯以下 ③2杯 ④3杯 ⑤4杯 ⑥5杯 ⑦6杯以上

ワイン グラス(60ml)で

- ①飲まない ②1杯以下 ③2杯 ④3杯 ⑤4杯 ⑥5杯 ⑦6杯以上

裏面も記入してください。